

健康経営®フォーラム2018

働き方改革とこれからの健康経営

2018年可決、成立した「働き方改革関連法案」。2019年4月の施行を迎えるが、生産性の向上が大きなテーマとなっている。生産性向上のため、「仕事の効率化」や「時短」、「テレワーク」、「副業・兼業の推進」…

超少子高齢社会の中、雇用確保や働き方、社会や組織の持続的な成長を支えるために、議論、仕組み作りを進めています。働く個人と企業の幸せの実現、生産性向上とウェルビーイングを実現するため、「健康経営」での視点から各演者が取り組む事例を紹介します。国をあげて健康経営への取り組みが進む中、国の施策や方向性をご紹介するとともに、経営戦略としての健康経営を、どのように取り組むか、これから健康経営を参加者の皆様とともに考えます。



主 催

特定非営利活動法人 健康経営研究会
全国健康経営推進協議会

後 援 ※予定

経済産業省、厚生労働省、スポーツ庁、大阪府
東京商工会議所、中央労働災害防止協会

大阪会場

プログラム

※プログラムは変更の可能性があります。

コラボヘルスを通じた予防・健康づくりについて

厚生労働省 保険局
野崎 展史氏

働き方改革とこれからの健康経営

特定非営利活動法人健康経営研究会
理事 弁護士 山田 長伸

大阪府が力を入れる健康経営の推進
～健康経営ナビゲーター、アワード等について～

大阪府 健康医療部保健医療室
健康づくり課 企画推進グループ
総括主査 門林 孝吉氏

「働く」を考える
～労働寿命が延びれば健康寿命も延びる～

一般財団法人日本予防医学協会
理事長 神代 雅晴

開催概要

日時：2019年2月28日(木)
14:00～16:50予定

受付時間：13時30分～

会場：ブリーゼプラザ小ホール
大阪市北区梅田2-4-9 ブリーゼタワー7階

締切：2019年2月28日(火)9:00

定員：300名

参加費：フォーラム 無料

お申込みはパソコン/スマートフォンから

<https://www.jpm1960.org/forum2018o/>

※定員に達し次第、受付を締め切らせていただきますのでご了承ください



“**健康経営**”とは、経営者が従業員とコミュニケーションを密に図り、従業員の健康に配慮した企業を戦略的に創造することによって、組織の健康と健全な経営を維持していくこと。また、企業が従業員の健康に配慮することによって、経営面においても大きな成果が期待できる、との基盤に立って、健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践することを意味しています。

従業員の健康管理・健康づくりの推進は、単に医療費という経費の節減のみならず、生産性の向上、従業員の創造性の向上、企業イメージの向上等の効果が得られ、かつ、企業におけるリスクマネジメントとしても重要である。従業員の健康管理者は経営者であり、その指導力の元、健康管理を組織戦略に則って展開することがこれからの企業経営にとってますます重要になっていくものと考えます。

このような、熱い想いを持って平成17年に特定非営利活動法人「健康経営研究会」を設立。

さらに、“健康経営”を推進しようとの考えから“**健康経営**”という言葉を大切にしようと、同年に登録商標を取得しています。



特定非営利活動法人

健康経営研究会

Workshop for the Management of Health
on Company and Employee

※『健康経営』はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

【事務局】 一般財団法人日本予防医学協会西日本事業部
h-supporter@jpm1960.org